

公立世羅中央病院だより

No.66

リンパ浮腫の看護について

公立世羅中央病院 2F 病棟主任看護師 檜谷久美子

指導は次のような内容で行っています。

公立世羅中央病院では、平成12年からリンパ浮腫の患者さんにリンパ管吻合術が行われるようになり、現在までの症例数は約300例です。北海道から九州まで全国から受診され、治療されています。

リンパ浮腫手術の効果を持続させる為には、日常生活での浮腫のコントロール・継続ケアが必要です。患者さんがそのことを理解し、自信をもって退院できることを目指して看護しています。ただ単に手足が腫れるだけでなく、患者さんが感じておられる日常生活のつらさをよく聞きながら、リンパマッサージやスキンケアなどを指導し、浮腫軽減への支援を行っています。患者さんは車椅子の生活から開放され、おしゃれができるようになります。生活の質が向上し、笑顔で退院されています。



【運動療法】

- 筋肉を動かすことによりリンパ管の流れを改善します。

【スキンケア】

- 清潔にしましょう。
- 感染予防に努めましょう。
- 皮膚の保護をしましょう。

(保湿クリームの塗布、ズボン、長袖の着用)

・毎日、肌を観察し、異常があればすぐに受診しましょう。

- ・ストッキングを着用したり、弾性包帯を巻くことにより、リンパ液がうつ滞しないようにします。

【リンパマッサージ】

- 手で患肢のマッサージを行い、リンパ管の流れを助けます。

【日常生活の注意点】

- ・十分な睡眠をとりましょう。
- ・規則正しい生活をしてストレスをためないようにしましょう。
- ・就寝時にはクッションなどで腫れるある患肢を高くします。
- ・正座や長時間座ることは避けましょう。

弾力包帯による圧迫

